

マレーシア視察報告



10月8日（水）から10月11日（土）の2泊4日で、マレーシアのクアラルンプールにある建設廃棄物のリサイクル施設と、現地の店舗「IKEA」での分別への取組みについて、CIDB（マレーシア建設産業開発局）の案内で視察会を行いました。



マレーシアは2020年に先進国の仲間入りを目指しており、建設現場も随所に見られました。しかし、今回視察したリサイクル施設では、搬入される建設廃棄物は全体の5%程度しかなく、ほとんどの建設廃棄物がデベロッパー所有の土地に処分されているとのことでした。また、安定型の最終処分場では、廃プラ、木くず、がれき等を処分しており、リサイクルできそうなものが多く処分されていました。今回視察した処分場での受入

処分費は、200円/t程度と日本では考えられない安さでしたが、お金をかけて適正に処理するという意識がまだ根付いていないため、持ち込まれる量も一日80t程度とのことでした。

CIDBとの交流会を兼ねた昼食後に訪問したIKEAでは、金属、廃プラ、木くず、ダンボール、紙くずの5種類を分別しており、IKEAから排出される廃棄物の90%がリサイクルされているとのことでした。しかし、バックヤードからはまだミックス状態で持ってくる従業員も多いため、集積所に専従者を置き分別しているとのこと、従業員一人一人の分別意識の改善が今後の課題とのことでした。



大久保興業(株) 伊藤

今後、インフラ整備・開発ラッシュが一段と加速していく過程の中で廃棄物排出量も相当数予想されます。また、法規制とリサイクルに関する考え方が未発展なので問題が発生する前に、マレーシアという国自体が本腰をあげてそろそろ対応していかなければならないのではないかと感じました。その為に日本として何かお手伝い出来ればと思います。

川上商店(株) 竹林

日本で行っている処理方法・再資源化と比べて、まだ未発達であると思います。今後、各種工事が増えていくと聞きましたので日本の再資源化技術・経験を機会があれば伝えていきたいと思いました。



お知らせ



☆10月22日(水) 埼玉県環境部との懇談会を開き意見交換を行いました。

★12月17日(水)に部会・委員会合同大忘年会を開催します。部会・委員会の委員の方は予定をさせていただきます。



※建廃協NEWSへのご意見・ご要望を受け付けております。建廃協NEWSで取り上げて欲しい特集等お待ちしております。 jimukyoku@kenpaikyo.or.jp まで。